

第87回 理事会(平成16年度第7回)議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時: 平成17年2月7日(月) 19:00~20:50
2. 場 所: 神奈川県社会福祉会館 4階第2研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事: (副会長)野地 澄雄、山田 隆
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、上田 英之、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
(理事)柴田 秀一、本田 衛義、長久保 巖、佐々木 生道、
清水 忠、木村 徳善、菊地 勇二、百海 廷、
栗田 謙悟、平沢 幸一、斎藤 幸雄、川田 光代
欠席理事: (会長)河野 洋平、(副会長)古郡 敬一
(常務理事)渡辺 三郎
(理事)徳本 進、岡本 洋一、吉岡 去私
4. 出席監事: 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出: 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出: 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記: 富川 貴幸 広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、別紙のとおり下記の行事についての報告がなされ、了承された。

イ) ノルディック競技

- ・ノルディック合宿(12/29~1/2) 参加28名
- ・第63回神奈川県選手権(1/2~3) 参加18名
- ・第6回マスターズ・南関東ノルディック・国体選考会(1/21~23) 参加36名

ロ) フリースタイル競技

- ・モーグルキャンプ(1/22~23) 参加25名
- ・SAJ公認第6回神奈川県モーグル競技会(1/23~24) 参加128名

ハ) スノーボード競技

- ・FIS公認第10回神奈川県スノーボード選手権(1/21~23) 参加125名

二) アルペン競技

- ・第3回チャレンジカップ第1戦野辺山大会 **雪不足のためレースキャンセル**
- ・上越4連戦(1/21~25) 参加延べ1290名
- ・第3回神奈川県マスターズ第2戦・第3回チャレンジカップ岩岳大会・第6回クラブ対抗(1/28~30) 参加延べ278名
- ・競技力向上選手強化合宿(12/28~30) 参加7名
- ・アルペンジュニア総合合宿(12/28~30) 参加15名
- ・第1回ジャパーナカップマスターズ選手権(1/15~16) 参加83名

神奈川県総合体育大会の準備状況について

栗田理事より、県総合体育大会の練習バーンでのポール等の調達については現地で借用する旨を調整済である。検討課題としては選手の輸送機関の問題、閉会式後の昼食の問題を地元へ投げかけている。また、市町村役員との交流会については、協会の実務担当者へ案内文を発送済。

来期の予算は大幅削減予定となっていたが、スキー競技については5%を越えない範囲で予算を組めるので、来季も引き続き運営をお願いしたい旨を理事会に報告しておくことと伝えた。

来期の日程については2月中に大会終了することなので、2月24日～26日で現地と調整し、計画に折込みたいと思います。リレー競技について市町村より要望のあった女子との混合チームで実施できないかとの要望あったが、今期は要項等も作成したので無理であり、今後の検討課題としたい。来季からノルディックに女子参加及び参加費の徴収とかの課題が残っているが、スポーツ課と調整していくとの報告がなされ、了承された。

今後の無線機の管理、貸し出しについて

菊地本部長より、無線機の貸出しは事務所の白板に記載しているが、使用できない物がある。片専務理事より、バッテリーが3年経つとダメで弱くなるが、買うことはしないように。担当は本田理事でメンテナンスを十分に行なうこと（修理・償却等）の指示があった。

(2) 審議事項

第60回国民体育大会神奈川県代表選手について（別紙）

菊地本部長より、第60回国民体育大会の県代表候補選手の推薦がなされ、承認された。雪不足その他の理由による大会中止時のエントリー代の返金について

菊地本部長より、レースキャンセルの場合は、エントリー費から1000円（事務手数料）を引いた額（現行半額返金）に変更したい旨の提案がなされ、上記案は雪不足の場合の今期のみ暫定として承認された。片専務理事より、来期以降については要項作成時に検討することの指示があった。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

木村理事より、別紙のとおり下記行事についての報告がなされ、了承された。

イ) 車山行事（12/11～12/12）参加581名

ロ) 北海道行事（12/14～12/19）参加316名

ハ) 尾瀬岩鞍スノーボード行事（12/23）参加11名

ニ) 第9回教育部会（12/25）

ホ) 野辺山行事（1/8～1/9）参加149名

ヘ) 五竜行事（1/14～1/16）参加315名

ト) 車山行事（1/21～1/23）参加335名

チ) 教育本部・正副委員長会議（臨時）（1/23）

リ) 第10回教育部会（1/26）

・菊地理事より、五竜行事 中のスキー生涯スポーツリーダー講習会については申込みがなかったため中止とし浜島SAJ専門委員と相談し、車山行事 にてスキー講習の他にスノーシューのツアー等を加えることを検討中との報告があった。

菊地理事より教程関係の売上げについて中間報告があり、了承された。

・販売金額；約195万円、スキージャーナルからの請求金額；1,478,300円
今回50万円弱（約49万円）になる見込み。正式には次回理事会にて報告する。

(2) 審議事項

来年の指導員研修会（理論）会場について（11/13開催）

木村理事より、会場申込みが10日程遅れたことにより県央地区（横浜、川崎等）では予約が取れなかった為、小田原市市民会館（約1,098名収容）を仮抑えしているとの提案がなされ、承認された。

車山行事（準指導員検定会）の班編成について

清水理事より、準指導員検定の申込みが156名の為、従来の3班編成から2班編成にしたい。予算については、8名+ジャッジ研修2名とし、3班編成に対し2名減(約10万円削減見込み)との提案がなされ、承認された。

第42回全日本スキー技術選手権大会派遣選手について

菊池理事より、別紙のとおり第42回全日本技術選手権派遣選手の提案がなされ、承認された。スノーボード技術選手権大会の事業縮小について

百海理事より、募集人数が予定した30名に対し、15名ほどしか集まらず、行事縮小して、2月13日(日)に20名の選手募集で実施。予算は作成中で、専務理事・常務理事と相談するとの提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

資金運用状況について

上田本部長より、本年度はスノーボードがSAJに移行したことによりトータル的には昨年よりプラス12万円程になる見込み。財団の資金運用について、ネット銀行は利率が高いが法人はダメとのことで、現在検討中との報告があり、了承された。

登録状況について

長久保理事より1月31日現在での登録状況は、下記のとおりとの報告があり、了承された。

- 一般登録; 5,807名、
- 競技関係有資格者; 41名、
- スキー指導員関係; 2,354名、
- スノーボード指導員(単独); 52名、
- スノーボード指導員(兼務); 13名、
- 検定員; 1,770名、
- パトロール; 90名、
- クロスカントリー指導員; 5名、

ハンディキャップ委員会

越前谷常事務局長より、岩岳チャレンジカップ報告、賛助会費については合計336000円集まり、ホームページにお礼文を載せるとの報告があり、了承された。

中越地震義援金について

上田本部長より、新潟県スキー連盟 15万円寄付、新潟県出納局 15万円寄付し、新潟県スキー連盟よりお礼状が届いたとの報告があり、了承された。

ホームページリンク報告について

上田本部長より、千葉県スキー連盟、法政二校とのリンクを許可したとの報告があり、了承された。

山崎勉顧問の功労者表彰(体協)について

越前谷事務局長より、1月22日に県庁本庁舎3階大会議室で体育功労者表彰式が行なわれ、SAK山崎勉顧問の体育功労者(体協)を受賞したとの報告があり、了承された。

公益法人監査機能の適正化について

上田総務本部長より、公益法人監査機能の適正化について、教育庁より一部の財団法人において事業収入の私的流用があったことが判明したが、その通知がSAKにも届いたとの報告があり、了承された。

協賛関係について

長久保理事より、協賛関係について下記のとおり報告があり、了承された。

- 野辺山; 10万 30万へ増額、五竜; 30万 40万へ増額 追加請求中です。
- 増田屋さん; 閉店との連絡有り、今回で協賛終了。

ソネットさん協賛の方向でBOYAさんSAKサブブランドの件検討中
韓国行事、指導委員会との共催について
上田本部長より、韓国行事の報告（計37名）があり、了承された。

(2) 審議事項

全日本スキー連盟 創立80周年に伴う功労者の推薦（提出期限；3/15）について
上田本部長より、上記事項が提案され、次回理事会で該当者を提案することを承認された。
研修会免除願い及び脱退届けについて
長久保理事より、下記の申請があり、承認された。
・研修会免除願い申請（3名）
・団体脱退届け（1団体）

4) その他

片専務理事より、教育本部の渡辺本部長が仕事の理由で、行事に殆ど出席できないことの対応について、教育本部の運営を理事間の意志の疎通及び各委員会の委員長間の意志の疎通について留意するように指示された。また、教育本部の体制については専務理事直轄とすることにしたいとの提案がなされ、承認された。

上田本部長より、海外アラスカ行事について参加人数が少ない為、中止もあり得るとの報告があった。

井駒幹事より、これからは各行事が重なってくるのでそれぞれの行事で役員不足が生じた場合は、調整して行事に支障のないようにしていただきたいとのコメントがあった。

菊池本部長より、野辺山のエントリーフォームが他のエントリーフォームに紛れ込んだことが報告され、野地副会長からは今後このようなことが起きないように担当理事が責任を持ってまとめる事との指示があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成17年 2月 15日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印